

基本目標 1 男女平等意識が浸透した社会を目指します

基本目標別評価集計	A	B	C	D
	18	55	1	0

施策の方向 1 男女平等教育の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 1 学校教育における男女平等教育の推進				
小・中学生向け男女平等教育副読本	小中学生向け男女平等教育副読本の活用率の向上。 小学校 100% 中学校 50%	男女平等教育の副読本を作成し、市内の小・中学生に配付、教師用に「指導の手引」を作成し配付。 小学校:「はらっぱ」, 同「指導の手引」 ・小学校3,4年生対象(3年時に配付) ・部数 15,000<15,000> ・活用率 92.3%<96.6%> 中学校:「わたしらしく生きる」, 同「指導の手引」 ・中学校全学年対象(1年時に配付) ・部数 14,000<14,000> ・活用率 50.7%<39.1%> 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 1,675千円 <1,801千円>	B	市) 男女共同参画課 教) 学校指導課
中学生のためのキャリアデザイン啓発事業	子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう男女平等教育を推進する。 平成25年度から27年度の3年間で全69校でセミナーを実施する。	大学・企業・地域・市が連携し、中学校へ講師を派遣し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを実施。 <実施校> 市立中学校23校 <19校> <セミナーの内容> ・男女共同参画の必要性について ・性別にとらわれず将来のキャリアデザインを描くことの大切さについて ・ロールモデルの紹介 ・専門分野・研究分野の説明・体験等 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 639千円 <873千円>	A	市) 男女共同参画課
男女平等の理念に立った教育課程の編成	男女平等の理念に立って教育課程を編成し、教科等の特徴や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。	各学校において、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等の特徴や児童生徒の発達段階に応じて作成する教育指導計画に男女平等教育の視点を適切に位置付けている。 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -	B	教) 学校指導課
職場体験学習	職場体験学習の実施率 中学校 100%の継続 生徒のニーズにあった受け入れ事業所の充実。	参加学校数及び生徒数:69校 12,098名 <69校 11,820名> 受け入れ事業所:3,465事業所 <3,388事業所> 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 339千円 <485千円>	A	教) 学校指導課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課				
家庭科教育の充実	男女が共に家族の一員として役割を果たし、家庭を築いていくことの重要性を認識し、生活に必要な知識・技能を習得させるため、家庭科教育の充実を図る。	【小学校5・6年生】 ○男女ともに、家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担し工夫することを学ばせた。 ○生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせた。 【中学生】 ○家族を構成する男女が、家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を工夫することを学ばせた。 ○生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を習得させた。	B	教) 学校指導課				
育児の体験学習等		予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>			26年度予算額	25年度予算額	-	-
26年度予算額		25年度予算額						
-	-							
学校生活全体にわたっての見直し	【中学生】 技術・家庭科(家庭分野) ○幼児と触れ合う活動を実施した。 全生徒対象。幼児と触れ合う直接的な体験を通して、幼児への関心を深め、幼児とのかかわり方を工夫する学習を行った。直接の体験ができない学校では、幼児への接し方を考えるロールプレイングやビデオで幼児の行動を観察したりする授業を行っている。 ○幼児の心身の発達の特徴と、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について学ばせた。							
		予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-	B	教) 学校指導課
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
学校生活全体にわたっての見直し	男女混合名簿の採用率 小学校100% 中学校50%	学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。 ○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成 ○学級での係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し ○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施 ○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施 ○中学校の未採用校への聞き取りと、採用への指導を実施。 ・男女混合名簿(出席簿等)の採用率 小学校:98.6%〈99.3%〉 中学校:55.1%〈56.5%〉 ・男女平等教育副読本活用率 小学校:92.3%〈96.6%〉 中学校:50.7%〈39.1%〉	C	教) 学校指導課				
		予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-		
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 2 教育に携わる者への研修の充実				
男女平等教育研修会の実施	教職員の男女平等教育研修会の参加率 100%	〈講演〉「ジェンダーの視点から 学校現場を見る」 講師：立命館大学女性ライフサイクル研究所 村本邦子 〈実践発表〉副読本「わたしらしく生きる」の活用について 発表者：福岡市立小笹小学校 教 諭：東 義隆 参加者：225人(97.4%) 〈226人〉	A	教) 学校指導課 市) 男女共同参画課
		予 算 額		
		26年度予算額 100千円	25年度予算額 〈100千円〉	
公民館長・公民館主事の研修	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において、男女共同参画に係る研修を実施。	公民館職員に対する男女共同参画に係る研修の実施 ア 新任公民館職員研修実績 26年度1回34人 〈25年度1回32人〉 イ 公民館運営研修実績 東区、博多区、早良区 各1回、計148人 〈東区、博多区各1回、計99人〉	B	市) 公民館調整課
		予 算 額		
		26年度予算額 60千円	25年度予算額 〈67千円〉	
保育所職員への研修	年に1～2回男女共同参画の研修を位置づける。	研修実施 対象：保育所保育士(主任・中堅) 内容：男女協同参画の視点で子どもの可能性を開こう 講師：NPO法人福岡ジェンダー研究所 理事・研究員 倉富 史枝 氏 参加者：18人 〈25年度 対象：保育士(主任・中堅) 参加者：20人〉	B	こ) 監査指導課 ※26年度は、 保育所指導課
		予 算 額		
		26年度予算額 -	25年度予算額 -	
教頭2年次研修	研修受講満足度を、平成27年度までに、90%とする。	テーマ：「男女共同参画社会の実現と教頭の役割 ～学校における男女平等教育の進め方～」 講師： 市民局男女共同参画課長 佐伯 正子 参加者数：2年次教頭 48人 〈33人〉 研修評価：受講者満足度 79%	B	教委) 教育センター研修・研究課
		予 算 額		
		26年度予算額 -	25年度予算額 -	
社会教育関係職員研修会	社会教育関係職員を対象に人権教育研修会を実施することで、男女共同参画社会実現のための地域等での人権教育・啓発活動に活かす。	※26年度は、男女共同参画をテーマにした研修は未実施	—	教) 生涯学習課
		予 算 額		
		26年度予算額 72千円	25年度予算額 〈72千円〉	

施策の方向 2 男女共同参画推進センターを中心とした啓発・学習の全市的展開

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課		
具体的施策 3 男女共同参画推進センターにおける取組の推進						
男女共同参画講座・講演会の実施	主催するすべての講座において、定員を超える応募者数を得る。	① 男女の自立や男女共同参画を促進するための講座 18講座43回 参加者2,803人 <20講座60回 参加者2,892人> 事前申込みが必要な15講座中、応募者数が定員を満たしたものは9講座<16講座中 10講座>	B	市) 事業推進課		
		② 女性のチャレンジ支援のための講座等 17講座205回 参加者3,509人 <13講座149回 参加者2,520人> 事前申込みが必要な16講座中、応募者数が定員を満たしたものは8講座<12講座中 5講座>	B	市) 事業推進課		
	参加者数300人を超える。	③ 健康管理の支援のための講演会等 1講座2回 参加者563人<1講座2回 参加者290人>	B	市) 事業推進課		
		①～③合計 36講座 250回 6,875人(女性5,914人,男性961人) <34講座 211回 5,702人(女性4,728人,男性974人)>				
		予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 14,690千円</td><td>25年度予算額 <14,734千円></td></tr></table>			26年度予算額 14,690千円	25年度予算額 <14,734千円>
26年度予算額 14,690千円	25年度予算額 <14,734千円>					
市民グループ活動支援事業	イベント部門 30企画 調査研究部門 1企画	イベント部門 31企画<40企画> 調査研究部門 0企画<1企画> 事業報告会参加者数 46人<59人> 報告書 1種類 700部発行<1種類 800部発行>	B	市) 事業推進課		
		予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 2,404千円</td><td>25年度予算額 <2,798千円></td></tr></table>			26年度予算額 2,404千円	25年度予算額 <2,798千円>
		26年度予算額 2,404千円			25年度予算額 <2,798千円>	
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		女性 の人生サポート講座 全7回 講師:相原わかば(弁護士)・行時智子(税理士)ほか 参加者数:216人<130人>	B	市) 事業推進課		
		予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 -</td><td>25年度予算額 -</td></tr></table>			26年度予算額 -	25年度予算額 -
26年度予算額 -	25年度予算額 -					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額		4評価	5 事業実施担当課
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		男女共同参画講座 「アミカス△共感ゼミ」 映画「GIRL RISING～私が決める、私の未来～」上映会 参加者数:延べ313人(全2回)＜延べ159人(全3回)＞		B	市) 事業推進課
		予 算 額			
		26年度予算額 -	25年度予算額 -		
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		○映画「燦燦」上映会 参加者数:554人		B	市) 事業推進課
		予 算 額			
		26年度予算額 -	25年度予算額 -		
男女の自立や男女共同参画を促進するための講座等		男女共同参画基礎講座「ジェンダーというメガネのナゾ」 ・寸劇出演:福岡市男女共同参画推進サポーター ・講演「ジェンダーというメガネのナゾ」 講師:諸橋泰樹(フェリス女学院大学教授) 参加者数:153人 共同主催:福岡市七区男女共同参画協議会		B	市) 事業推進課
		予 算 額			
		26年度予算額 -	25年度予算額 -		
具体的施策 4 拠点施設としての支援の充実					
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上にする。	市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数:74件＜54件＞ (内訳) プログラム作成 0件＜0件＞ 講師紹介 48件＜24件＞ アミカス寸劇隊派遣事業 17件＜8件＞ 出前講座 9件＜22件＞		A	市) 事業推進課
		予 算 額			
		26年度予算額 -	25年度予算額 -		
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数50回	○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した29人と、前期より継続して登録した17人、合計46人(女性38人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 15回＜12回＞ ・講座の受講者数 延べ716人＜404人＞ ○第5期男女共同参画推進サポーター養成講座 平成27年度から3年間、市民講師として派遣する第5期サポーターを養成するための講座を実施した。 全6回 参加者数 延べ68人 ＜男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座全2回 参加者数 延べ183人＞		B	市) 事業推進課
		予 算 額			
		26年度予算額 -	25年度予算額 -		

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課		
具体的施策 5 区役所, 人権啓発センター, 婦人会館, 市民センターにおける取組の推進						
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回 ②東区のつどい(講演会等)の開催 参加者:270人<310人> 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!？」 講師: 小津 智一 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」 ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人<370人> テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会 ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名<77人> 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏 , 杉山 拓人 氏 (NPOファザーリング・ジャパン九州) ⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)<4人> ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会, 演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 769千円</td><td>25年度予算額 <810千円></td></tr></table>	26年度予算額 769千円	25年度予算額 <810千円>	B	東) 企画振興課
26年度予算額 769千円	25年度予算額 <810千円>					
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アミカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加 ④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名) ⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潁郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名) 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 982千円</td><td>25年度予算額 <1,045千円></td></tr></table>	26年度予算額 982千円	25年度予算額 <1,045千円>	B	博) 企画振興課 ※26年度は 地域振興課
26年度予算額 982千円	25年度予算額 <1,045千円>					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課
中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援	校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。 校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っている。	校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者会を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。 (平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更) ①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供 ②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。 ③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏／参加者:75名) ④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード	B	中) 企画振興課
		予 算 額		
		26年度予算額 356千円	25年度予算額 〈386千円〉	
中央区女性地域アクティブメイト事業	学習・活動の場・交流の場を提供し、女性の社会参画を促進する。	各校区男女共同参画協議会会長が推薦する地域コミュニティの中で若手・中堅として活躍が期待される女性を「中央区女性地域アクティブメイト」に任命し、下記の活動を行った。 アクティブメイト14名 (1)学習・研究活動 行政や地域、男女共同参画などにおいて市民生活に係わる様々な問題の中から、自分たちで研究テーマを設定し、学習・研究活動を行い、また、その活動を通して、会議の運営やプレゼンテーション力などの技術を習得した。 25・26年度テーマ:コミュニケーション・子どもと遊び・私達のまちのゴミ事情 (2)報告活動 ・研究成果や活動結果を報告書にまとめ、中間報告会を開催 ・各校区の男女共同参画協議会等で随時活動報告 (3)旧アクティブメイトへの情報提供 前年度までに活動したアクティブメイトに対して情報提供を行った。	B	中) 企画振興課
		予 算 額		
		26年度予算額 389千円	25年度予算額 〈288千円〉	

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課		
南区男女共同参画連絡会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。 校区男女共同参画推進活動の充実。 校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。	校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。 区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。 1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援 ①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約 ②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施 ③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有 ④役員会 年7回開催 2. 区主催事業 ①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施 ②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 834千円</td><td>25年度予算額 〈740千円〉</td></tr></table>	26年度予算額 834千円	25年度予算額 〈740千円〉	B	南) 企画振興課
26年度予算額 834千円	25年度予算額 〈740千円〉					
城南区男女共同参画連絡会活動支援	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。 地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。	1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援 ①定例会(11回) 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供。 ②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員 ③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア) 2 区主催事業 ①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員) ②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:145名】 Ⅰ部「日本女性会議2014札幌」参加報告 Ⅱ部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師: 矢野 大和氏(おおいだ観光特使) ③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 961千円</td><td>25年度予算額 〈991千円〉</td></tr></table>	26年度予算額 961千円	25年度予算額 〈991千円〉	B	城) 地域支援課
26年度予算額 961千円	25年度予算額 〈991千円〉					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課				
早良区男女共同参画協議会活動支援	校区活動の活性化へつながる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 ①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いできずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」 ②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね！～みんなで語る男女共同参画～ ③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがとうのある暮らし～」 ④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&ワークショップ 2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子 氏 (リプロダクティブ・ヘルス／ライツと環境を考える会事務局長) 5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう！ 男女共同参画で考える 地域 と 家庭 と 未来」 講師：瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授) 6. 早良区スポーツ&フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>720千円</td><td>〈720千円〉</td></tr></table>	26年度予算額	25年度予算額	720千円	〈720千円〉	B	早) 地域支援課
26年度予算額	25年度予算額							
720千円	〈720千円〉							
西区男女共同参画連絡会活動支援	自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。	校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名) 3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区) 4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者：1団体と4名 (受賞者：1団体) 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>1,216千円</td><td>〈1,130千円〉</td></tr></table>	26年度予算額	25年度予算額	1,216千円	〈1,130千円〉	B	西) 振興課
26年度予算額	25年度予算額							
1,216千円	〈1,130千円〉							

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課		
男女共同参画社会づくり講座	市民センターにおける男女共同参画講座・講演会の実施。	男女共同参画社会づくり講座「超高齢社会の絆を考える」 ①「男女共同参画を推進するために」 NPOジェンダー研究所 理事 倉富 史枝 ②「DV被害者支援と子どもへの影響」 佐賀県DV総合対策センター 所長 原 健一 ③「DV被害にあった時、見つけた時に知っておくべき法的知識」 受講者数 全3回:271名 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 50千円</td><td>25年度予算額 〈168千円〉</td></tr></table>	26年度予算額 50千円	25年度予算額 〈168千円〉	A	東) 生涯学習推進課
26年度予算額 50千円	25年度予算額 〈168千円〉					
南区人権講座	すべての人の人権が尊重されるまちづくりをめざして、市民がさまざまな人権問題を考える機会を提供 5回の講演会を実施	第4回目 短歌でつづる40年 ～男女共同参画社会を目指して～ 講師:福岡県女性研修の翼 第2回団長, 歌人(第42回福岡市文学賞受賞) 池野 京子 受講者数 275人 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 235千円</td><td>25年度予算額 〈305千円〉</td></tr></table>	26年度予算額 235千円	25年度予算額 〈305千円〉	B	南) 生涯学習推進課
26年度予算額 235千円	25年度予算額 〈305千円〉					
具体的施策 6 公民館における取組の推進						
公民館における男女共同参画学習講座	公民館主催事業（男女共同参画講座）実施館数の増加。 60館	公民館主催事業のうち男女共同参画学習講座を重点事業として実施。 公民館数 46館〈 49館 〉 回数 184回〈 193回 〉 参加人数 5,274人〈 5,485人 〉 予 算 額(全主催事業分) <table><tr><td>26年度予算額 54,332千円</td><td>25年度予算額 〈55,139千円〉</td></tr></table>	26年度予算額 54,332千円	25年度予算額 〈55,139千円〉	B	市) 公民館調整課
26年度予算額 54,332千円	25年度予算額 〈55,139千円〉					
具体的施策 7 男女共同参画に関する調査・研究						
男女共同参画データブックの作成	テーマ別に分類し、より活用しやすいものにする。	2014年度版男女共同参画データブック「男女共同参画 Year Book Fukuoka 2014-2015」を作成。地域での男女共同参画に関する研修等で活用することを目的に、12のテーマに沿って、男女共同参画の実態や課題を図表を示して説明した。 作成部数:1,000冊〈24年度1,000冊〉 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 -</td><td>25年度予算額 -</td></tr></table>	26年度予算額 -	25年度予算額 -	A	市) 事業推進課
26年度予算額 -	25年度予算額 -					
市民意識調査	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	男女共同参画に係る施策を展開するうえで基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ○平成25年度調査（調査期間:平成25年8月30日～9月17日） ・調査対象者数 4,500人 ・回収率 43.3% ・設問数 21問 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額 -</td><td>25年度予算額 3,100千円</td></tr></table>	26年度予算額 -	25年度予算額 3,100千円	—	市) 男女共同参画課
26年度予算額 -	25年度予算額 3,100千円					

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課
女性労働実態調査	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討する。	市内事業所における従業員の就業実態を把握し、男女共同参画に係る施策を展開するうえでの基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ○平成26年度調査 1. 郵送調査 (1)調査期間:平成26年11月27日～12月16日 (2)調査対象 ①市内事業所:2,000社(回収率 30.9%) ②女性従業員:4,000人(回収率 29.3%) ③男性従業員:4,000人(回収率 26.3%) ④パートタイム労働者:2,000人(回収率 15.9%) 2. インタビュー調査 (1)企業インタビュー ①調査期間:平成26年12月22日～平成27年1月25日 ②調査対象:市内事業所の経営者人事部門:50社 (2)従業員インタビュー ①調査期間:平成26年12月20日～21日 ②市内で働く人:50人(男性25人 女性25人)	A	市) 男女共同参画課
		予 算 額		
		26年度予算額 6,551千円	25年度予算額 -	

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課	
具体的施策 8 男女共同参画に関する広報と情報提供					
「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知	「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知を図る。	平成21年10月に「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」を改定発行した。また市職員を対象とした研修を開催し、手引きの内容説明及び、参加者が実際に作成した印刷物に対する具体的なアドバイスをを行った。 研修参加者 計 80名<研修参加者 計 35名> また全庁OA(市職員向け)に手引きを掲載し、全課に周知している。	B	市長) 広報課	
		予 算 額			
		26年度予算額 -			25年度予算額 -
ユニバーサル都市・福岡の推進	年齢、性別、能力、背景などに関わらず、すべての人にとって住みやすく、来てみたくなる、みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け、ユニバーサルデザインの考え方に対する市民の理解促進を図る。	・ユニバーサル都市・福岡賞・表彰式の実施 (平成26年10月26日) ・ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施 (平成26年10月4日～平成26年10月26日) ・NPOや大学等との連携による市民参加型イベントの実施 (平成26年10月4日) ・企業向けUDビジネスセミナーの実施 (平成26年10月20日) ・新聞・ラジオ(4回)による広報活動の実施 ・ホームページ・ソーシャルメディアの活用、出前講座の実施等 (3回) ・ユニバーサル都市・福岡デザインワークショップの実施(1回) ・NPO等による取組みへの支援(事業費の4/5、上限40万) ・小学校での出前授業・人文字プロモーションによる推進(1回) ・児童向け教材の配布、活用(市内の新4年生全員に配布) ・全庁におけるユニバーサル都市・福岡推進本部会議の開催 (1回)、関係課長で構成する幹事会の開催(1回) ・eラーニングの活用、新規採用職員への講師派遣等(2回)	B	総) 企画調整部	
		予 算 額			
		26年度予算額 15,000千円	25年度予算額 <15,000千円>		
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるよう全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作) (平成19年改訂) 行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。	B	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		26年度予算額 -			25年度予算額 -
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 広報実績 計9回掲載<計6回> ・市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」の周知 (11/1号) ・テレワークの導入支援の周知(2/1号) ・男女共同参画審議会公募委員募集(8/1号) その他(市後援事業など) 6件	A	市) 男女共同参画課	
		予 算 額			
		26年度予算額 -	25年度予算額 -		
市政だよりによる広報	効果的なタイミングに広報を行う。	情報BOXのページにアミカス欄を設け、事業実施前の適切な時期に記事を掲載。掲載件数:59件<54件> 南区医師会との共同主催の講座 南区版に掲載:2件<1件> 職業訓練協会との共同主催の講座 お仕事欄に掲載:11件<11件>	A	市) 事業推進課	
		予 算 額			
		26年度予算額 -			25年度予算額 -

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課						
市HPでの情報提供	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	本市の男女共同参画にかかる情報に関しては下記アドレスにて情報を発信している。 福岡市トップページ→生活情報→<u>人権・男女共同参画</u> 26年度の主な掲載内容 ・男女共同参画審議会 ・テレワーク(在宅勤務)導入支援事業 ・ワーク・ライフ・バランスセミナー受講企業募集 ・仕事と子育て両立応援セミナーの開催 ・「モデル校区地域リーダー育成塾」報告会の開催 ・社会貢献優良企業優遇制度の募集 ・男女共同参画推進協議会 ・男女共同参画審議会公募委員募集 等	A	市) 男女共同参画課						
		<table><tr><td colspan="2">予 算 額</td></tr><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	予 算 額		26年度予算額	25年度予算額	-	-		
予 算 額										
26年度予算額	25年度予算額									
-	-									
インターネットによる広報(アミカスHP)	アクセス件数を250,000件以上にする。 メルマガ登録数を1,500件以上にする。	○ホームページによる広報 ・男女共同参画推進センターの施設案内、事業概要、イベント、講座等の案内・募集、事業報告、アンケート集計等 ・調査研究報告書、図書情報、出版物の紹介 ・女性関連情報サイトへのリンク アクセス件数 187,108件<222,851件> ○メールマガジンの配信 メールマガジン登録者に男女共同参画推進センターの案内や男女共同参画の情報等を配信した。 登録数1,256件<登録数1,157件>	B	市) 事業推進課						
		<table><tr><td colspan="2">予 算 額</td></tr><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	予 算 額		26年度予算額	25年度予算額	-	-		
予 算 額										
26年度予算額	25年度予算額									
-	-									
出前講座	受講者の満足度の向上を図る。	出前講座において男女共同参画社会基本法、男女共同参画を推進する条例等について説明を行った。 実施回数 6件<10件> 参加者数 165人<328人> 受講者の満足度 98.2%<91.6%>	B	市) 男女共同参画課						
		<table><tr><td colspan="2">予 算 額</td></tr><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	予 算 額		26年度予算額	25年度予算額	-	-		
予 算 額										
26年度予算額	25年度予算額									
-	-									
人材情報の提供	人材登録者数を300件以上にする。	女性問題の視点から人材情報を収集し提供した。 人材情報の登録及びインターネット等による情報を提供。 登録数:286件<286件> 提供件数:24件<22件>, その他21件<13件> WEB検索については、教育委員会生涯学習課のホームページ「まなびアイふくおか」の人材バンクで検索可能。	B	市) 事業推進課						
		<table><tr><td colspan="2">予 算 額</td></tr><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	予 算 額		26年度予算額	25年度予算額	-	-		
予 算 額										
26年度予算額	25年度予算額									
-	-									
広報紙の発行	広報紙に関しては、紙媒体から電子媒体へ移行していくことを考慮に入れ発行する。	男女共同参画推進センターの事業等を紹介するとともに、女性問題解決のための情報提供や啓発を行った。 ○広報紙「アミカスタイムズ」の発行 発行回数:年3回 発行部数:6,000部/回 配布先:全国の男女共同参画行政機関・施設、マスコミ、近郊大学・短大、市内の企業・病院、市情報プラザ、市民センター 等 ○情報紙「アミカスカワラ版」の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:2,800部/回<同左> ○アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:毎月1回 発行部数:700部/回<780部>	A	市) 事業推進課						
		<table><tr><td colspan="2">予 算 額</td></tr><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	予 算 額		26年度予算額	25年度予算額	-	-		
予 算 額										
26年度予算額	25年度予算額									
-	-									

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4評価	5 事業実施担当課
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・J:COM福岡「街ingふくおか」	B	市) 事業推進課
		予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 - -		
アミカス図書室による情報の提供	蔵書数 44,000冊 貸出数 57,000冊 利用者数 46,000人	男女共同参画や女性問題に関する図書・資料等を収集し、貸出・閲覧・レファレンスを行った。 蔵書数: 44,984冊<45,044冊> 貸出数: 47,314冊<50,958冊> 利用者数: 43,015人<44,763人> レファレンス受付件数: 3件<1件> 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 18,087千円 <18,493千円>	B	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣件数 50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した29人と、前期より継続して登録した17人、合計46人(女性38人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 15回<12回> ・講座の受講者数 延べ716人<404人> ○第5期男女共同参画推進サポーター養成講座 平成27年度から3年間、市民講師として派遣する第5期サポーターを養成するための講座を実施した。 全6回 参加者数 延べ68人 <男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座全2回 参加者数 延べ183人>	B	市) 事業推進課
ココロンセンターだより	センターの事業紹介をはじめ、人権啓発情報を提供し、市民の人権意識の向上を図る。	・6月、9月、12月、3月の年4回発行 ・発行部数各4,000部<4,000部> ・ハートフルフェスタや人権尊重週間行事、人権啓発推進指導員のコラム、障害者差別解消法の特集記事や登録団体の紹介等を行った。 ・配布先: 公民館, 市民センターなど, 市の公共施設 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 420千円 <430千円>	B	市) 人権啓発センター
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上 (マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 15,412千円 <13,612千円>	B	市) 人権啓発センター
「まなびアイふくおか」による広報	ホームページ「まなびアイふくおか」、情報誌「まなびアイふくおか」、市政だより等を通じて、福岡都市圏のさまざまな機関・団体が開催する男女共同参画に関する事業を紹介する。	「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか(ホームページ)」の講座・イベント情報及び情報誌「まなびアイふくおか」のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 1 ホームページアクセス数: 1,381,692件<1,282,047件> 2 情報誌 ・発行回数: 年4回<同左> ・発行部数: 1,200部<1,305部> ・配布先: 市民センター, 区役所, 情報プラザ, 総合図書館等 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 108千円 105千円	A	教) 生涯学習課

施策の方向 3 市民等との連携・共働の推進

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 9 市民団体、NPO、自治協議会等との連携・共働				
市民グループ活動支援事業	イベント部門 30 企画 調査研究部門 1 企画	(具体的施策 3再掲) イベント部門 31企画〈40企画〉 調査研究部門 0企画〈1企画〉 事業報告会参加者数 46人〈59人〉 報告書 1種類 700部発行〈1種類 800部発行〉	B	市) 事業推進課
「地域における男女共同参画講座・講演会」支援事業	支援件数を50件以上にする。	(具体的施策 4再掲) 市民センターや公民館など地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会について、プログラム作成、講師紹介等のアドバイスをを行い支援を行った。 支援回数:74件〈54件〉 (内訳) プログラム作成 0件〈0件〉 講師紹介 48件〈24件〉 アミカス寸劇隊派遣事業 17件〈8件〉 出前講座 9件〈22件〉	A	市) 事業推進課
男女共同参画推進サポーター派遣事業	年間派遣回数50回	(具体的施策 4再掲) ○男女共同参画推進サポーター派遣事業 平成23年度に養成講座を修了し新規登録した29人と、前期より継続して登録した17人、合計46人(女性38人・男性8人)の第4期サポーターを、地域が主催する男女共同参画に関する講座・講演会に講師として派遣した。 ・講座への派遣回数 15回〈12回〉 ・講座の受講者数 延べ716人〈404人〉 ○第5期男女共同参画推進サポーター養成講座 平成27年度から3年間、市民講師として派遣する第5期サポーターを養成するための講座を実施した。 全6回 参加者数 延べ68人 〈男女共同参画推進サポーターフォローアップ講座全2回 参加者数 延べ183人〉	B	市) 事業推進課
登録団体との共働事業	「市民・行政共働型」啓発をさらに効果的に推進する。	平成25年度は、福岡の皮革産業の歴史や部落差別について学ぶため、福岡市博物館や人権のまちづくり館をめぐる人権フィールドワーク(現地学習会)を実施した。 平成26年度は男女共働参画に関する登録団体であるNPO法人福岡ジェンダー研究所と共催で、オレンジリボンキャンペーンについてのトークショー、ゴスペルワークショップ等を内容とする「オレンジリボンキャンペーン・ゴスペル in 福岡」を開催した。また、セクシャルマイノリティに関する登録団体FRENSと協力して多様な性の当事者によるスピーチコンテストやにじいろ合唱団による合唱等を内容とする「にじいろ文化祭」を開催した。 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 54千円 〈54千円〉	B	市) 人権啓発センター
人権啓発センター登録団体交流会	参加団体数の増加	平成25年度は、実施を見送った。 平成26年度はRAKUPA 園田 正一郎を講師に招き、2回のセミナーを開催した。 ・(1回目)「実践! 読まれる広報紙の作り方」 参加団体数 7団体(13名) ・(2回目)「マスコミを味方にするPR術」 参加団体数 10団体(11名) 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 28千円 〈28千円〉	B	市) 人権啓発センター
活力あるまちづくり支援事業	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	活力あるまちづくり支援事業補助金の交付を通じて自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取り組みを支援した。 補助金交付団体数 148団体〈148団体〉 (うち147団体については自治協議会へ交付、残り1団体については自治協議会未設立のため各種団体へ交付) 予 算 額 26年度予算額 25年度予算額 479,000千円 〈484,796千円〉	A	市) コミュニティ推進課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
東区男女共同参画連絡協議会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) ①定例会の開催(委員:27人) 定例会12回 ②東区のつどい(講演会等)の開催 参加者:270人<310人> 講演:「今どきの子育て世帯が地域を変える!？」 講師:小津 智一 氏 (NPOファザリング・ジャパン九州代表理事) 演奏会:「スウィング・ストリート・ジャズ・オーケストラ」 ③男女共同参画社会づくり講座 参加者:271人<370人> テーマ「DVとは そして私たちは」(3回シリーズ) 主催:東区生涯学習推進課 共催:東区企画振興課 協力:東区男女共同参画連絡協議会 ④地域リーダー育成研修会 共催:東区 参加者:55名<77人> 「ダンボールワークショップ」(地域で参加者を集めやすいイベント体験) 講師:吉田 忠 氏, 杉山 拓人 氏 (NPOファザリング・ジャパン九州) ⑤日本女性会議2014札幌(3名参加)<4人> ⑥区事業への参加 博多どんたく東区演舞台(運営委員会, 演舞台に参加) ⑦筑紫少女苑 成人式に参列 ⑧校区団体の組織づくり 区協議会委員(校区代表)27名	B	東) 企画振興課
博多区男女共同参画代表者会活動支援	地域における男女共同参画意識の浸透を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し、男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	(具体的施策 5再掲) ①役員会及び定例会(4回) 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 ②男女共同参画講演会(研修会)(参加者64名) テーマ:地域活動における性別役割分担 内 容:寸劇とワークショップ 講 師:アミカス寸劇隊 対 象:校区男女共同参画委員, 自治協議会長, 公民館長・主事, まち館館長 ③日本女性会議への参加(参加者数7名) 分科会・全体会へ参加 ④第2回 男女協サミットへの参加 (各校区代表) ⑤博多区男女共同参画代表者会と自治協との 意見交換会 「第4ブロック」(参加者74名) ⑥視察研修(参加者数:41名) 視察先:三潞郡大木町 講 師:農事組合法人モア・ハウス代表 大藪佐恵子氏 ⑦各校区の情報共有 各校区の広報紙を一つにまとめて綴り, 各校区にて保有する。 ⑧区事業への参加協力 博多区市民どんたく隊へ参加(17名)	B	博) 企画振興課 ※26年度は 地域振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
中央区男女共同参画連絡会及び校区活動の支援	校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援していく。 校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情にあった情報発信を行っていく。	(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成22年度に中央区男女共同参画校区団体代表者を設立。校区男女共同参画推進協議会等相互の交流及び情報交換を行っている。 (平成24年度より中央区男女共同参画連絡会へ名称変更) ①男女共同参画連絡会 ・役員会(月1回程度)の開催 ・定例会(月1回程度)での情報交換 定例会での校区活動報告 区からの情報提供 ②研修・会議への派遣及び報告 NWEC研修(女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修)及び日本女性会議へ区男女共同連絡会委員を派遣し(計2人)、連絡会で報告を行った。 ③中央区男女共同参画研修会の共催 中央区男女共同参画連絡会主催の研修会を共催としてサポート(講師:生涯学習・社会システム研究者 三浦 清一郎氏/参加者:75名) ④区事業に参加 博多どんたく港まつりパレード	B	中) 企画振興課
南区男女共同参画連絡会活動支援	男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。 校区男女共同参画推進活動の充実。 校区男女共同参画推進団体間の情報交換の支援。	(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成20年度に南区男女共同参画連絡会を設立。平成26年度は全体会や学習会、ブロック会にて情報交換、グループワークなどを実施した。 区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、校区リーダー育成講座等の区主催事業を実施した。 1. 南区男女共同参画連絡会の活動支援 ①全体会 年2回開催(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約 ②学習会 年3回実施(7月、11月、1月) 「介護」「防災」「コミュニケーション」など、身近なテーマから男女共同参画について考えるもの 講師による講話やグループワークを実施 ③ブロック会 4ブロック 各2回開催 ブロック毎に、より細やかな情報・意見を共有 ④役員会 年7回開催 2. 区主催事業 ①校区リーダー育成講座【参加者数:36名】 地域で、男女共同参画の視点を持ったうえで指導的立場につける人物が増えることを目的として実施 ②25年度南区男女共同参画事業・活動報告書の作成【部数:1,350部】 区主催事業や連絡会及び各校区男女協の活動実績を共有するために作成	B	南) 企画振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
城南区男女共同参画連絡会活動支援	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されている。 地域活動において、男女が共に、指導的立場に立って幅広く活躍している。	(具体的施策 5再掲) 1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援 ①定例会(11回) 校区活動報告,情報交換,行政からの情報提供。 ②広報紙づくり勉強会(全2回) 地域住民に男女共同参画に対して関心をもってもらうため、読んでもらえる広報紙作りの知識を習得し、校区の広報紙作成につなげた。 ・対象:各校区男女協委員 ③啓発 広く男女共同参画への意識啓発を図るために、研修の場や公共の展示スペースを利用して、11校区の活動パネルの展示や啓発物の配布を行った。(全3回) ・まちかど文化ひろば(区役所1階ロビー) ・委員研修開催時(市民センター2階ロビー) ・男女共同参画講演会開催時(区役所3階フロア) 2 区主催事業 ①委員研修 「上手な男女共同参画の進め方 PART2」 男女共同参画を推進する団体の組織運営上の課題、活動上の課題、そして課題解決に向けてどう取り組むべきかを学んだ。 ・対象:各校区男女協委員 【参加人数:81名】 ・講師:西山 恵美子氏 (国立女性教育会館 客員研究員) ②男女共同参画講演会及び日本女性会議報告会 校区で男女共同参画を進めるための意識付けのため、区主催で講演会を行うもの。 ・対象:各校区男女協委員、自治協関係者、公民館職員等 【参加人数:145名】 Ⅰ部 「日本女性会議2014札幌」参加報告 Ⅱ部 講演「笑って元気 家庭の絆・親子の絆。地域の絆」 ・講師:矢野 大和氏(おおいだ観光特使) ③「日本女性会議2014札幌」への派遣 2名	B	城) 地域支援課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課
早良区男女共同参画協議会活動支援	校区活動の活性化へつながる活動の支援。 男女共同参画の視点を持った地域リーダーの育成。	(具体的施策 5再掲) 1. ブロック研修会 区内4ブロックにて委員研修会を実施 ①早良公民館(Aブロック) 80名(91名) 講師 小ノ上 マン太郎 氏(NPO法人博多笑い塾理事長) テーマ「男と女 笑いできずく参画社会 ～地域づくり、人づくりを考える～」 ②田隈公民館(Bブロック) 80名(62名) 講師 NPO法人福岡ジェンダー研究所 倉富 史枝 氏 テーマ サンカクいいね！～みんなで語る男女共同参画～ ③原西公民館(Cブロック) 80名(65名) 講師 日高 邦博 氏(主夫) テーマ「主婦と主夫、かなで書けば同じ『しゅふ』 ～思いやりとありがとうのある暮らし～」 ④室見公民館(Dブロック) 80名(71名) テーマ 身近なことで考えてみよう参画社会を アミカス劇隊による『息子夫婦・娘夫婦』&ワークショップ 2. 日本女性会議2014札幌参加(委員4名参加) 3. 広報誌「かたらい」発行 早良区内公民館、行政施設などに設置 4. 委員研修会 第1回 80名(4名) テーマ「地域での男女共同参画の推進について ～事例紹介と情報交換会～」 講師 佐藤 倫子氏(ファシリテーター・Edu代表世話人) 第2回 60名(54名) テーマ「男女共同参画形成のために」 講師 柳 淑子 氏 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツと環境を考える会事務局長) 5. 早良区男女共同参画講演会 184名 「まじめに笑って考えよう！ 男女共同参画で考える 地域と家庭と未来」 講師：瀬地山 角氏(東京大学大学院総合文化研究科 教授) 6. 早良区スポーツ&フードフェスタ 「福岡マラソン2014」のファンランフィニッシュ地点で開かれた 「早良区スポーツ&フードフェスタin百道浜」にて パネル展示を通して男女共同参画の啓発を行った。	B	早) 地域支援課
西区男女共同参画連絡会活動支援	自治協議会会長、各種団体の校区代表及び会長並びに公民館長等のいわゆる地域リーダーへ就任出来る女性を育成する。 数値目標：平成27年度までに25%とする。	(具体的施策 5再掲) 校区主体で男女共同参画を推進していくため、平成25年度連絡会へ移行。委員交流会・意見交換会やフェスティバルの開催及び広報紙を発行した。区は連絡会事務局として支援を行うとともに、地域リーダー育成研修会や男女共同参画推進奨励賞等を実施した。 1. 西区男女共同参画フェスティバル 西区男女共同参画フェスティバル2014 「かたり合い、笑顔でつなぐ 地域の輪」 240名(230名) 2. 日本女性会議 日本女性会議2014札幌参加 5名(1名) 3. 委員交流・意見交換会 ①9月委員交流会・意見交換会 33名(31名) 「本音でかたる地域づくり」 アドバイザー 松村 良子氏 ※地域リーダー育成研修会として開催 ②1月委員交流会・意見交換会 26名(26名) 「私にできる一歩(本音でかたる地域づくり)」 ③3月委員交流会・意見交換会 32名(29名) 「みんなでやろう 地域づくり」 発表 藤田 佳世子(姪浜校区)・松岡 智恵子(玄洋校区) 4. 全体会 ①35名 ②32名(3月委員交流会終了後、同日開催) 5. 広報紙「なぎさ」 47号・48号(各号6600部)発行(45・46号は6500部ずつ発行) 年2回、9月・3月に発行している。 6. 男女共同参画推進奨励賞 受賞者：1団体と4名 (受賞者：1団体)	B	西) 振興課

1 事業名称	2 業績目標	3 事業実績及び予算額		4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 10 大学との連携					
未実施					
		予 算 額			
		26年度予算額	25年度予算額		
具体的施策 11 報道機関との連携					
行政広報物における表現のガイドラインの周知	市職員や市民が必要に応じて閲覧できるよう全庁OA、ホームページ等を活用し周知を図る。	(具体的施策 8再掲) 「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載し、周知している。 A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作) (平成19年改訂) 行政広報物作成の際は、企画・制作を請け負う印刷事業者や広告代理店等に対しても同ガイドラインを配布することとしている。		B	市) 男女共同参画課
広報テレビ番組による広報	合計5回以上広報を行う。	(具体的施策 8再掲) テレビ番組で関連事業などを広報した。 ・J:COM福岡「街ingふくおか」		B	市) 事業推進課
ラジオ番組「こころのオルゴール」	市民の人権意識の向上(マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発)	(具体的施策 8再掲) 様々な人権問題をテーマにしたシナリオ全33本中、女性に関する問題をテーマとしたものを3本制作・12回放送した。		B	市) 人権啓発センター

施策の方向 4 国際理解・交流の推進

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額		4 評価	5 事業実施担当課
具体的施策 12 男女平等に関する国際理解の推進					
海外の女性情報の収集及び提供	蔵書数 55種類 リンク数を20にする	○英文資料を収集・提供 蔵書数： 52種類<52種類> ○アミカスHPから7つの海外サイトにリンクしている。<7>		B	市) 事業推進課
		予 算 額			
		26年度予算額 -	25年度予算額 -		
具体的施策 13 在住外国人女性への支援					
区役所業務に係る 在住外国人窓口案内・相談事業	外国人が利用しやすい相談窓口とする。	東区市民相談室に通訳を配置し、区役所業務に係る案内・相談や市政に係る相談を受け付けた。 相談件数 95件<98件> ・英語 月曜日 ・中国語 木曜日 13:00～16:00		B	総) 国際課
		予 算 額			
		26年度予算額 800千円	25年度予算額 <794千円>		
在住外国人の生活環境整備事業(在住外国人のための日本語学習支援)	市主催・民間含め日本語ボランティア教室の延べ数の維持・拡大	市内5か所の市民センターにおいて市民ボランティアとの共働により日本語教室を実施した。 また、他のボランティア日本語教室についても、一覧としたパンフレット「にほんごClass Map」を更新し、区役所窓口などで配布し在住外国人への周知に努めた。 H26.9月時点の教室数52教室(市主催・民間含む) (H25.9月時点の教室数51教室(市主催・民間含む))		A	総) 国際課
		予 算 額			
		26年度予算額 2,748千円	25年度予算額 <2,844千円>		

1 事業名	2 業績目標	3 事業実績及び予算額	4 評価	5 事業実施担当課				
外国語版広報印刷物の発行	現状のサービスを維持する。	○外国語情報紙の発行 （（公財）福岡よかトピア国際交流財団 レインボープラザ編集・発行） ・英語版 隔月刊 5,500部 ・中国語版・韓国語版 隔月刊 各2,500部 ○リビング・イン・フクオカ（外国人のための生活便利帳） 区役所窓口で無料配付 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>26,546千円</td><td>〈27,451千円〉</td></tr></table> ※予算額は国際部「リビング・イン・フクオカ」予算と福岡よかトピア国際交流財団「一般相談・情報提供」の合計額	26年度予算額	25年度予算額	26,546千円	〈27,451千円〉	A	総)国際課
26年度予算額	25年度予算額							
26,546千円	〈27,451千円〉							
国際交流財団事業（レインボープラザにおける相談・情報提供）	現状のサービスを維持する。	○（公財）福岡国際交流協会 レインボープラザでの多言語相談・情報提供（英語・中国語・韓国語） ・法律相談 月2回 ・入国・在留・国籍相談 月1回 ・カウンセリング 週3回 ・健康相談 週1回 ・全体の相談件数6,739件〈8,124件〉 ※外国人に対する相談のみ 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>26,336千円</td><td>〈26,764千円〉</td></tr></table> ※予算額は（公財）福岡よかトピア国際交流財団の「一般相談・情報提供」と「外国人専門相談」の合計額	26年度予算額	25年度予算額	26,336千円	〈26,764千円〉	A	総)国際課
26年度予算額	25年度予算額							
26,336千円	〈26,764千円〉							
アミカス日本語クラス		アミカス日本語クラスとの共同主催により講座を実施。 主に国際結婚、夫の仕事などで、福岡にきた外国人女性のための日本語クラスを実施。 全40回 参加人数：延べ645人(22カ国)〈延べ651人(19カ国)〉	A	市) 事業推進課 (実施主体： アミカス日本語 クラス)				
外国人母子保健サービス事業	在住外国人の母子に対するサービスの向上	外国語版母子健康手帳の交付 交付数50冊(50冊) ※乳幼児健康診査時に英語版のアンケート用紙を使用 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td></tr></table>	26年度予算額	25年度予算額	-	-	B	こ) こども発達支援課
26年度予算額	25年度予算額							
-	-							
保健師等の訪問指導等における外国語通訳業務	在住外国人に対するサービスの向上	保健師等が日本語の通じない外国人家庭を訪問する際に、保健相談・指導業務を円滑にするための電話通訳業務 予 算 額 <table><tr><td>26年度予算額</td><td>25年度予算額</td></tr><tr><td>571千円</td><td>〈863千円〉</td></tr></table>	26年度予算額	25年度予算額	571千円	〈863千円〉	B	こ) こども発達支援課
26年度予算額	25年度予算額							
571千円	〈863千円〉							